

# ほゆう

## 会報 93号

平成 14 年(2002) 3月例会時発行  
〒277-0835 柏市松ヶ崎 1194-222  
北総歩こう会事務局  
Tel 090-3345-8750

2月例会

### 「総会ウォーク」後記

例会リーダー 大神 智恵子

2月例会に参加して下さった皆様には、当日ご協力いただき有難う御座いました。無事、何事も無く終了しました。(参加人数 142名) 感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、大変恐縮ですが、役員の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。役員なら当たり前と感じるでしょうが、協力があるからこそ例会がスムーズに運営出来ていると思っております。

皆様、本当に有難う御座いました。

昨年7月に、14年度の行事が決定。2月の総会ウォークの担当になり、先ず最初に「総会会場は？」から開始。早々に県の施設である“さわやかちば県民プラザ”に打診したところ、運良く会場を確保。次はコースとなり、数回担当役員と下見を重ね、作成しました。総会会場も確保、コースも設定、あとは当日の天候のみ。こればかりはどう



仕様もありません。

週間予報を見ると傘マークがしっかりとあります。気をもみながらの一日でしたが、解散するまで雨にならなかったのほっとしました。もし雨なら流れ解散になるところ、降らずに済み、3月例会担当者の熱きPRも出来、無事バトンタッチする事が出来ました。尚、昼食場所のレストランが閉店となり、利用出来なくなったのは残念ですが、3月から営業開始との事です。

(例会担当…對馬淳 古宮誠 市川操)



柏の葉公園内を行く参加者 2月17日



総  
会  
風  
景



## ふぁみりーウォーク

※この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。

「ふぁみりーウォーク」の集合時間は、毎回午前9時00分です。

集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

- ☆4月20日(土) 春の清水公園むらさきの里へ 約8km (担当・小林 直之)  
 集合・出発：東武野田線愛宕駅 解散：東武野田線清水公園駅

- ☆5月18日(土) 鎌ヶ谷にある城址を訪ねて  
 約8km (担当・小林 直之)  
 集合・出発：新京成線初富駅  
 解散：東武野田線六実駅

- ☆6月16日(土) 大谷口城址から本土寺へ  
 約7km (担当・小林直之)  
 集合・出発：JR常磐線北小金駅  
 解散：同じ北小金駅



2月16日 大津川に行く参加者

★開催日には、下車駅の改札口付近で担当役員がご案内を致します。御安心下さい

※問い合わせ先 0471-84-4353 (菊池 靖) 19時~20時のみ

# 想い入れの下見歩る記

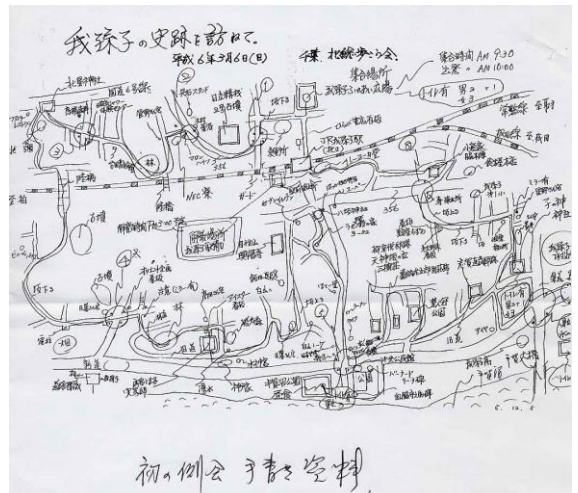
— 4 —

## 我孫子の史跡を訪ねて ①破天荒とリンゴ

北の鎌倉って何だろう？ 北方に当たる鎌倉に似た地形を言うのだろうか？ その北の鎌倉を『我孫子の史跡を訪ねて』と名付けて、北総歩会の事業計画に提案して採用された。

何しろ初めての体験である。まず S さんをお願いし、我孫子駅で缶ビールで出陣の乾杯! 「いい、コースですよ」とのひと言、うれしかった。そうした下地が出来た所で、役員のメンバーをお願いし、最終下見をご一緒頂いた。

その日は、天気予報の記号が「雪以外無いのでは?」という程の悪天候、晴・曇・雨・雷雨・ひょう……。下見の休憩時に Y さんからリンゴとナイフを渡された。左利きの私、一生懸命むいているのだが、その下手さ加減を見抜かれ、「何だ皮もむけないのか」と私から取り上げ、スイスイとむいて頂いた。リンゴは美味しかったが、身の縮む思い。歩けの並いる大先輩の中でオドオド……。 “あの横断は注意を” “あの場所は案内を” と指摘を受け、油汗をかきながら「終わったあー」と思った途端に、スーと力が抜けてしまった。破天荒の中での初体験だった。この時から、下見の楽しさ・嬉しさ・面白さにハマってしまった次第だ。(直翁)



## 例 会 の 案 内 板

### ☆4月例会 しば桜を見に

花シリーズ④ 柏公園→柏ふる里公園⇒北柏ふる里公園⇒根戸近隣センター⇒あけぼの山農業公園。ピンクと白の絨毯を一面に敷詰めたように咲き競う、しば桜を見て春を満喫しよう。

\*開催日：平成14年4月21日(日) 14 km

\*集合場所：JR常磐線柏駅東口そごう前広場 (改札口より案内あり)

\*集合時間：午前 9時

\*解散：我孫子駅北口ふれあい公園 14:30頃 (例会リーダー 市川 操)

### ☆4月千葉県協会行事 東京十社めぐり

\*開催日：平成14年4月27日(土)~28日(日)

\*集合場所：？\*集合時間：？\*解散：？

### ☆5月例会 日本百選の道

新京成八柱駅から五香駅まで、約3.1kmに480本の桜花のトンネル。常盤平さくら通り「日本百選の道」を今回はコースの最初と最後に歩きます。次のけやき通りは「日本街路樹百景」の一つ。子和清水の伝説、生街道のご案内、八柱霊園からフラワー通りを経て21世紀の森を散策します。

\*開催日：平成14年5月19日(日) 15 km

\*集合場所：新京成五香駅3分 やまぶき公園 (改札口より案内あり)

\*集合時間：午前 9時 \*解散：新京成八柱駅・JR武蔵野線新八柱駅 14:30頃  
(例会リーダー岡崎 千代子)

※例会行事問合せ先 047-367-7556 森 禎之 19時~20時のみ

### つれづれなるままに⑩

利根町在住会員 林 義治

年賀状書きの季節になると、思わぬ訃報に接する事がある。横浜にこの人ありと知られた健脚の一人、大串正喜氏である。氏は8月の真夏時に実施された「広島～長崎ピースウォーク」を昭和63年に成功させた後、2度も同じ行程を完歩した猛者であったが、惜しむらくは病魔には勝てなかった。小生とは、平成2年に福島県平市から成田までの平成ウォークで出会って以来、長距離ウォークの師であり、良き飲み友達でもあった。同年の星がまた一人消えた、極めて慙愧である。

「つれづれなるままに」と題した拙文は本稿を以って終わる。長期にわたり「ほゆう」誌に残した汚点を謝罪し、併せて同誌益々の発展を祈る。

ほゆうウォークコーナー 泉 狂歩  
牧場行く 我をのどかに ベコが呼ぶ  
旅人へ 心づくしの 黄水仙  
薬師寺の ひんがしの塔に 茜さす  
鐘の音や 桜ひとひら 慈光院  
源氏山 もののふ十騎 花の宴  
むらさきに 春ぞ暮れゆく 吉野山

狂い歩き 十七文字で 綴る旅

## 初参加体験記

高浜 直徹

1月6日の例会「木下の七福神」に参加された方から長文の体験記が届き、ご本人の了解を得て「ほゆう」に掲載させていただきます。（編集担当）

『お試しウォーク』に1/6参加した。印象を含め若干の所感を記したい。

先ず驚いたのは人員の多さ、係りの人に訊けば「150名程度かな」と気にも留めない風情、毎回のことらしい。スタート直後から100米・長蛇の列だ。車往來の道路横断する際、我々歩行者は園児となる騒ぎ。信号一度での渡り切りは不能、「列詰め」なる言葉を初めて耳にした。同行者から世には3000人規模の歩きもあるという話も伺い、この程度で吃驚しては不可ないのかも知れない。だが、散歩散策の延長線上にウォーキングがあると考えている者には些かの違和感が抜けない。さはされ、帰りの車中で考えた。同好の士、多々益々弁とするならば、40代?から70代に亘る年齢構成に鑑み、出発に当たって全体を二つ三つにグルーピングして時間差を付けたら如何だろうか。例えば年少・年中・年長組とか健脚・普通・のんびり派に編成し到着は各組毎に変える仕組みだ。後尾で急がねばのストレスを感じている集団も解消する余得さえ生ずるだろう。3000人の途方も無い大部隊の場合は何らかの手段が講じられているに相違ない筈で、そこにヒントが隠されている可能性がある。



1月6日の例会参加者

次に、道中に点在する名所旧跡巡りが「刺身の具」になっている。この度は20個の具が用意されていた、盛り沢山である。信仰心厚く、好奇心旺盛な方々が大勢いらっしゃるようなので、それはそれで構わない。が、時に（年に1回とか2回とか）無心論者で射幸心の欠片が残る者へのプレゼントとしてラリー的な行事（歩行ラリーがその代表例）を挟んでもらうと有り難い。ゲームの競い合いが若さを齎しはしないか。

ともあれ、計6時間、先頭集団に黄色のハッピー姿で威勢良く、最も張り切って居られたのが役員の皆様方だったように見受けた。それは帰宅後拝読した「ほゆう」に掲載されている事前ルート探索記で納得できた。裏方で工夫・苦勞が喜びに変じるのが当日本番なのだ。これらの活動的で世話好きな皆さんがご健在な限り、北総歩こう会は拡大発展するに違いないと確信、翌7日、6300円を振り込む可く郵便局へ急いだ。

それにしても此の賑わい、小生若かりし頃には思いもよらないことで、今後履歴書「趣味」欄に歩行・歩き・ウォーキング等と記入する人が続出するだろう。平和な日本の風景だ。

【編集後記】 2/17 定期総会が、会員各位のご協力により終了し、新しい年度が出発した。

会報「ほゆう」82号から編集を担当して、1年が過ぎた。新人生命保険の勧誘員はまず、身内親戚にお願いして出発するというが、私の原稿集めがまさにそれであった。参加者に手当たり次第ハガキを配って、返って来るのは30分の一。糠に釘の心境だった。そんな折に、友人の林氏が一肌脱いでくれたのが連載「つれづれなるままに」である。今号で終るのは寂しいが、長期間のご協力に感謝したい。

この1年、世の流れが大きく変わりつつあるのを感じる。一昨年夏、ハドソン川に沈む夕日を眺めて一時を過した世界貿易センタービルが消えて半年、アメリカ人ならず日本人の私の心にも怒りと無常観が湧き起って来る。芽吹き春、生命躍動の春、さあ！野に出よう！

編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石6-187-43

Fax 0471-54-0170 & Eメール moon@mail.wics.ne.jp 常時  
Tel 090-9298-3794 18:00~21:00 受付